

3. 事故時の航行状態・相手船の認知状況

「航行中」の遊漁船が、漂流又は錨泊中の船舶と衝突する事故が約6割

遊漁船の衝突事故 260 件を、遊漁船と相手船の航行状態で整理すると図 3 のとおりで、航行中の遊漁船の衝突事故が 210 件(80.8%)となっており、このうち漂流又は錨泊中の船舶との衝突事故は 152 件に上り、遊漁船の衝突事故全体で 58.5%を占めています。

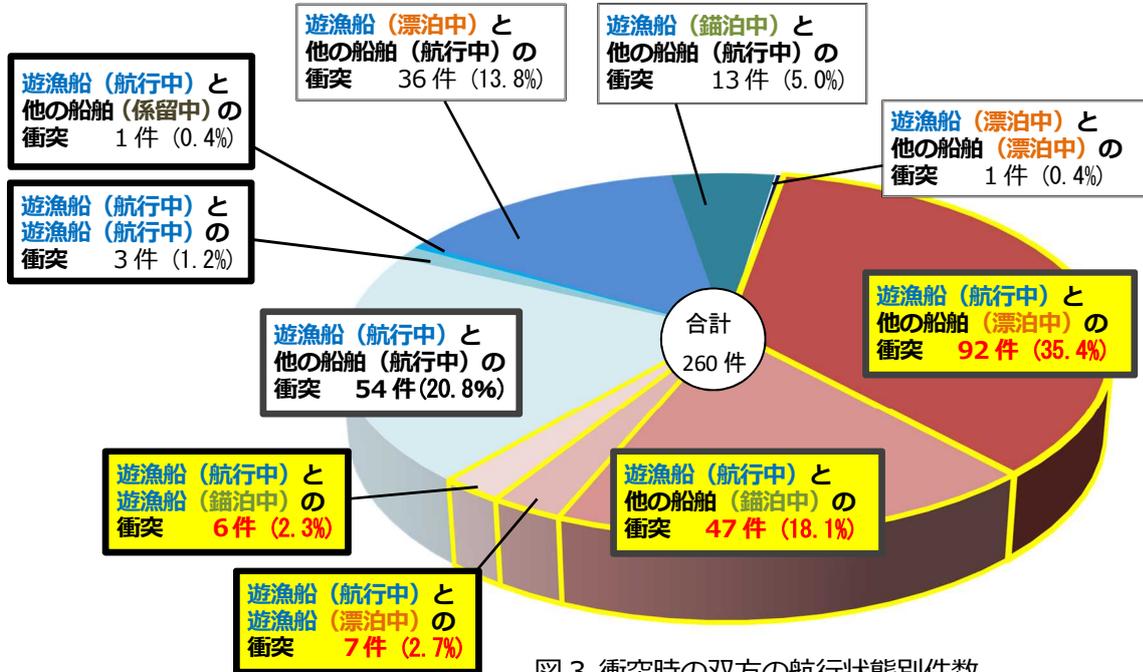


図 3 衝突時の双方の航行状態別件数

「航行中」の遊漁船の約8割が、相手船に気付かないまま衝突

また、260 件の事故に関係した遊漁船 276 隻が、事故に至る前に相手船に気付いていたか否か、航行状態ごとに整理したところ、航行中だった遊漁船 213 隻では 179 隻(84.0%)が、漂流又は錨泊中の遊漁船では 63 隻中 26 隻(41.3%)が、相手船に気付かないまま衝突しています。

その一方、相手船に気付いていながら、結果的に衝突した遊漁船は、航行中が 31 隻、漂流中が 23 隻、錨泊中の遊漁船では 14 隻でした。(図 4 参照)



図 4 航行状態ごとの相手船に対する認知状況